

今日は思いやりについて考えてみましょう。思いやりは、相手の立場に立って、人はたぶんこう思っているだろうな、と想像することです。

しかし、ここには落とし穴があります。それは、あなたと他人とは別の人間だということです。すなわち、あなたが想像しただれかの心の中は、本当にその人の心の中かどうか分からないということです。

もし、よろけて転びそうな幼児がいたら、もちろんすぐに助けてあげないといけません。しかし、泣いている幼児がいたとしても、この子にどうしてあげたら泣き止んでくれるのかは見ただけではわかりませんね？おなかがすいて泣いているのか、おなかがいたくて泣いているのか、お母さんがいなくて泣いているのか、などある程度想像はできても、本当のことはこの子に聞くしかないのです。

ですから、対話する力、コミュニケーション能力が大切になってきます。泣いている子に

「どうしたの？」

と聞いて、この子が

「ママがいなーい！」

と答えたとしたら、泣いている理由がはっきりしますね。

ということ、思いやりが本当に相手の思いによりそのもののなかどうか確かめることも大事なわけです。

一人ひとり感じ取り方は違うから、同じ言葉でも一言でグサッと来る人もいれば、そんなことちっとも気にならない人もいます。その辺のことをちゃんとわかっておかないと、へたすると「いじめ」につながりますよ。

音読サイン↓

① 何について、というテーマですか？

( )

② 思いやりとはどうすることですか？

( )

③ 思いやりの落とし穴とはどういうことでしょうか？

( )

④ なぜ転びそうな幼児には何を思っているか確かめなくていいのですか？

( )

⑤ 対話する力を他の言葉で何と書いていますか。

( )

⑥ 泣いている幼児を見てすぐに原因がわかりますか？

( )

⑦ 泣いている幼児の、泣く原因はどうすればわかるのですか？

( )

⑧ その辺のこととはなんですか？

( )

⑨ あっているものに○をつけましょう。

( )

( ) 人間はみんな同じ心を持っている。

( ) 自分と相手は傷つく度合いがちがうかもしれない。

( ) いじめは友達同士なら絶対におこらない。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できればは？

